

田中公教研究員



私は鳥類の進化に興味があり、特にウヤペンギンのような「泳ぎの達人」である海鳥たちにはどのような進化の歴史があったのかが気になっています。海鳥たちの祖先は、おそらくあまり泳ぐことが得意ではなかったはずで、長い年月をかけて、泳ぎに適した体の形を徐々に進化させてきたのです。生き物の進化を調べる方法は主

に二つあります。一つは生き物の体からDNAやタンパク質などの「分子」を採集して調べる方法、もう一つは過去の堆積物（地層）から「化石」を採集して調べる方法です。どちらの方法も生き物の進化を知る上では欠かせないものであり、時にはこれらの手法を組み合わせることもあります。ただし、私のように生き物の姿かたちの進化について知りたい場合は、化石を調べるのが有効な方法です。さ



約1億1千万年前の地層・篠山層群（丹波市山南町上滝）。丹波竜もここから発見されました

さまざまな時代の地層から発見された海鳥の化石を並べて観察することで、時間とともに泳ぎに適した形に進化させてゆく様子を詳しく探ることができます。

化石とは、それが見つかった地層がつけられた時代に、その生き物が確かに存在していた直接的な証拠です。また、生き物の骨や歯、殻などの硬い部分は化石に保存されやすく、その生き物のおおよその姿かたちを推定することも可能です。化石を研究する一つの醍醐味は、大昔の生き物の姿かたちや暮らしが分かるという点です。

私は博物館で鳥類や恐竜の化石を研究しており、化石を探しにさまざまな場所へ行きます。丹波地域は、約1億1千万年前

に暮らしていた動物たちの化石が多産することでも有名な場所です。特に2006年に発見された丹波竜の化石は大きな注目を集めました。残念ながら、丹波地域からは今のところ鳥類の化石は発見されていないのですが、今後見つかる可能性は十分あると思います（特に水鳥）、目を皿にして探しています。

最近では丹波地域から発見された小型の植物食恐竜・角竜類（トリケラトプスなどが属する恐竜のグループ）の研究をスタートしました。この恐竜の進化の歴史やその暮らしを詳しく調べるため、化石が発見された地層を観察し、新たな化石を探しながら過ごす日々は、まさに化石研究の醍醐味。最新の研究成果を、皆さまにお伝えできる日を楽しみにしています。

ひとはく
研究員
だより

海鳥

化石から進化の歴史探る